

## 特集

- ・養浜事業の現在
- ・清水海岸ポータルサイトの紹介
- ・三保松原白砂青松保全技術会議にてL型突堤の設置が了承

## 特集2 清水海岸ポータルサイトの紹介

清水海岸ポータルサイトでは、海岸侵食対策をマンガで分かりやすく紹介しています。また、有識者会議の資料や地元情報も随時更新していきます。



続きはWEBで!清水海岸で検索  
<http://shimizu-kaigan.net>

## 特集3 三保松原白砂青松保全技術会議にてL型突堤の設置が了承されました。

平成26年度は、2回の技術会議（H26.11.20、H27.2.3）を開催し、突堤の配置及び規模、突堤構造に有脚式（杭式）を併用することなどを決定しました。今後は、詳細デザイン等の検討を進めるとともに、突堤設置に伴う影響把握のためのモニタリングを実施していきます。



会議の詳細は清水海岸ポータルサイトをご覧ください。  
<http://shimizu-kaigan.net>

Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO お問い合わせ、ご意見はこちらまで

静岡県静岡土木事務所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町 2-20  
TEL 054-286-9157 FAX 054-286-9100  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>  
E-mail [shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp)

●静岡土木事務所工事第2課 平成27年3月発行



清水海岸では、自然に砂浜が回復するまでの間、主に砂の流れを人為的に補う養浜により最低限の砂浜の維持・回復を図っています。

## 三保松原の原風景

遠景の富士と近景の松が絶景を生み出す三保松原。昭和30年代は、その本来の美しさが残っていました。この写真が撮られた頃、安倍川の大量の土砂採取が始まりました。その20年後には、このあたりまで海岸侵食が進むことは誰も予想できなかったことでした。

昭和30年代の絵葉書







# 特集1 養浜事業の今

清水海岸では、海岸への土砂供給源である一級河川安倍川の河床土砂を養浜材として使用する『サンドバイパス』、清水海岸にたどり着いた土砂が海底谷に落ち込む前に再利用する『サンドリサイクル』を実施することで、安定した供給を可能としています。



## 景観への配慮

養浜の盛土により、背後の人工構造物(海岸堤防など)を隠すことができます。養浜作業では景観に配慮し、人工構造物の視認性を低下させるよう工夫しています。

海岸堤防



養浜以前 (H18.3)

平成25年度の養浜盛土実績例



養浜後 (H26.2)

## 砂浜の回復状況

安倍川供給土砂による砂浜回復域は、安倍川河口から北進を続け、現在は静岡・清水海岸の境界付近まで到達しています。

2012 (H24) 年1月



2014 (H26) 年12月



## 安倍川での砂利採取作業

海岸侵食の発生に伴って大規模な砂利採取を禁止して以降、安倍川の中下流部では河床が上昇し、治水安全度の低下が問題となっています。そこで安倍川を管理する国土交通省と連携し、河道掘削で得た土砂を海岸に運搬し、養浜材として利用しています。

## 清水海岸での養浜作業



土砂供給の不足を人為的に補うことにより、砂浜の維持・回復と背後地の越波被害防止を図っています。



砂浜の回復域が到達していない (対策をしなければ侵食する)